令和七年度　公立学校教員採用候補者選考試験問題

国　語

1／13枚中

注意　答はすべて解答用紙の解答欄に記入すること。句読点は字数に含む。

第一問題　各問に答えよ。

問1　次の漢字に関する問に答えよ。

(1)　次のア、イの傍線部の漢字の読みをひらがなで答えよ。

ア　本の重さで棚が撓んでいる。

イ　柔和な顔をして幼子を見つめていた。

(2)　次のア、イの傍線部で示したカタカナを漢字で記せ。

ア　当然のキケツとして、廃案となった。

イ　部下に権限をイジョウする。

(3)　「幣」の総画数を漢数字で答えよ。

問2　次の語句に関する問に答えよ。

(1)　「序破急」と同じ語構成のものをA～Eから一つ選び、記号で答えよ。

A　過保護　B　参考書　C　国内外　D　天地人　E　出欠席

(2)　故事成語とその意味の組み合わせとして適当でないものをA～Eから一つ選び、記号で答えよ。

A　鶏鳴狗盗…卑しい者、小細工をする者のこと。

B　舟に刻みて剣を求む…時勢の移り変わりを知らず、古いしきたりを守ること。

C　人口に膾炙する…広く人々に知られ、もてはやされること。

D　髀肉の嘆…手柄をたてる機会がないのを嘆くこと。

E　蛍雪の功…立派な功績を残しても、注目されず忘れられていくこと。

(3)　敬語の使い方が適当なものをA～Eから一つ選び、記号で答えよ。

A　私の業務をお手伝いなさる人を募集しています。

B　その施設はいつご利用されたのですか。

C　詳細については受付でうかがってください。

D　先生とはどこでお会いされましたか。

E　この講演の開始時間をご存じないですか。

(4)　次の文字の〇で示した部分に現れている、行書体の特徴として適当なものをA～Eから一つ選び、記号で答えよ。

A　筆圧の変化

B　筆順の変化

C　点画の連続

D　点画の誇張

E　総画数の増加

問3　次の日記文学作品のうち、「紫式部日記」と同時期に書かれた作品をA～Eから一つ選び、記号で答えよ。

A　土佐日記

B　蜻蛉日記

C　和泉式部日記

D　更級日記

E　十六夜日記

2025 kyosai-guild.jp

国語

2／13枚中

第一問題　次の[I]、[II]の文章を読み、[III]、[IV]の資料を見て、後の問に答えよ。

[I]

一

二

三

四

五

六

著作権等保護の観点から掲載いたしません。

（数土直紀『理解できない他者と理解されない自己　寛容の社会理論』より）

2025 kyosai-guild.jp

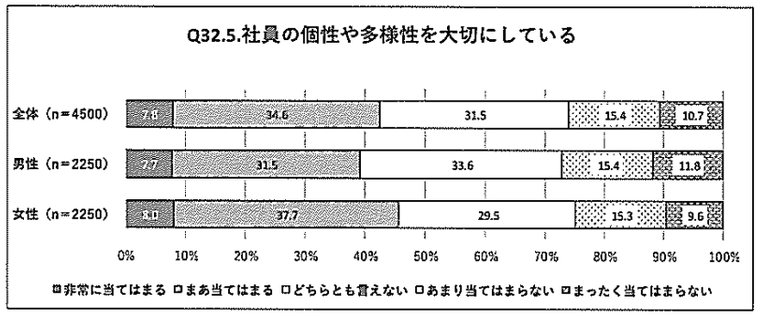
Ⅱ

著作権等保護の観点から　掲載いたしません

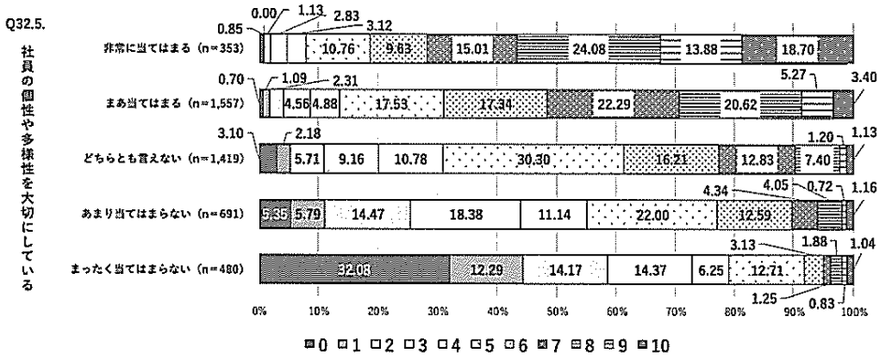
（石田光規『「人それぞれ」がさみしい　「やさしく・冷たい」人間関係を考える』より）

2025 kyosai-guild.jp

Ⅳ

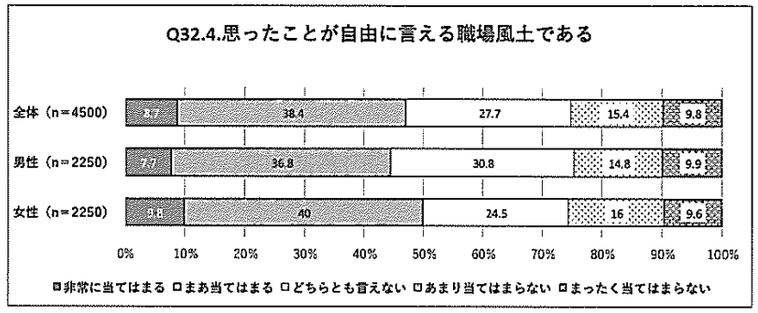


あなたの職場は働きがいのある職場ですか。10点を満点として0～10でお答えください。

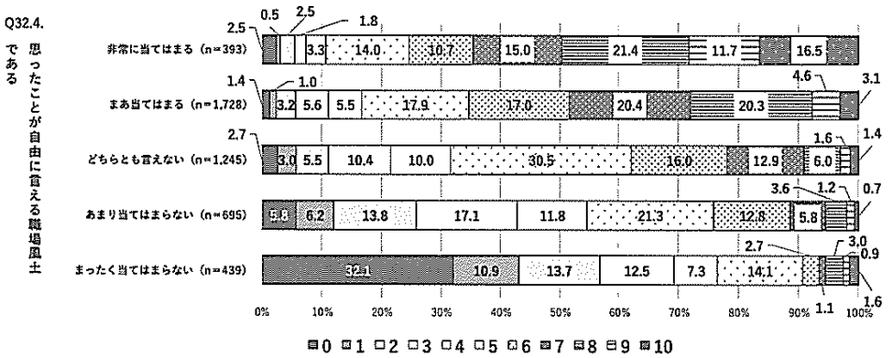


（公益財団法人　21世紀職業財団　資料より抜粋、補正）
※四捨五入のため合計が100.00%にならないデータがある。

Ⅲ



あなたの職場は働きがいのある職場ですか。10点を満点として0～10でお答えください。



（公益財団法人　21世紀職業財団　資料より抜粋、補正）
※四捨五入のため合計が100.00%にならないデータがある。

国語

2025 kyosai-guild.jp

国語

5／13枚中

問1　次の問に答えよ。

(1)　Ⅰの文章の［ア］に入る語として最も適当なものをA～Eから選び、記号で答えよ。

A　正当な　　B　当然な　　C　不自然な　　D　不当な　　E　不備な

(2)　Ⅰの文章の各段落の役割の説明として最も適当なものをA～Eから選び、記号で答えよ。

A　第一段落において相互理解の新たな在り方を提示し、第二段落では、その在り方の優位性について述べている。

B　第三段落では、従来の相互理解が抑圧的な面を持つ構造的しくみについて言及し、以降の議論につなげている。

C　第四段落では、相互理解のための話し合いの本質は抑圧的というよりも暴力的であると指摘している。

D　第五段落は、第四段落の内容を受け、話し合いが暴力的である要因は、相手に要求する理解度の差であると考察している。

E　第六段落は、従来の相互理解にある暴力性を強調し、第一段落で提示した相互理解の新たな在り方の限界について述べている。

問2　次の【資料】を読み、後の問に答えよ。

【資料】

Ⅰ、Ⅱの文章を読み、Ⅲ、Ⅳの資料を見た生徒の会話

はるか　他者という存在は、話し合えば理解できるものだと思っていたけど、簡単にはいかないんだね。

ひかる　Ⅰの相互理解をしようと努力することが「ある種の暴力性を帯びてしまう」と言うのに驚いたよ。

りお　「ある種の暴力性を帯びてしまう」のは、「相互理解の正しさを検証する手段がない」からと説明しているね。

はるか　だから、相互理解というものは、「相互理解の根拠を問わないことで、かろうじて相互理解の正しさを受け容れるほかないのである」とあるね。

つばさ　このことは①Ⅰの文章の主張に結び付くことになるわけだね。

りお　Ⅱの文章は、「一人」にならず、「ただつき合う」ことをもっと意識するように勧めている。

ひかる　「おたがいに迷惑をかけつつも、それを笑って受け容れられるつながり」は、なんだか安心できてほっこりするなあ。

つばさ　こうしたつながりは、「おたがいが相手のもつ異質さを受け容れることによって初めて得られる」と説明している。書き方は違うけど、言いたいことはⅠと似ているのかな。

ひかる　「おたがい」という言葉で気づいたんだけど、Ⅰの文章の「理解できない他者」の「他者」に「私」は入らないよね。これは私が他者を見ての表現だから。でも相互理解というからには、他者が私をどう見るかも問題になる。すると、この場合、他者からすれば［イ］でもあるんだよね。正直、私がどういう存在かは考えず、私から捉えた他者しか意識しないでⅠの文章を読んでいたよ。

りお　Ⅱの文章では、ただつき合うことで多様性が得られるとあったけど、Ⅲ、Ⅳの調査結果を見ると、多様性を認めていくことが生きやすい社会を作るような気がする。

つばさ　Ⅲには「多様性」という言葉はないけれど、「思ったことが自由に言える」というのは、考え方や感じ方は人それぞれ違うものだと認めているからこそ、こうした問いかけができるわけでしょ。だから、この問いは多様性を認めているかどうかを聞いていると捉えてもいいよね。

はるか　Ⅲの「思ったことが自由に言える職場風土である」でも、Ⅳの「社員の個性や多様性を大切にしている」でも、これらに「非常にあてはまる」と回答した人は、働きがいのある職場の評価で、［ウ］をつけた人の割合が高く、Ⅲでは65％近く、Ⅳでは72％近くになっている。多様性が認められている職場ほど働きがいがあると言えそうだね。

(1)　傍線部①「Ⅰの文章の主張に結び付くことになるわけだね」について、Ⅰのどのような主張に結び付くというのか。その主張を七十字以上八十字以内で答えよ。

(2)　［イ］に入る適切な言葉を十字以上十五字以内で答えよ。

(3)　［ウ］にあてはまるのは、何点から何点をつけた人たちか。解答欄の形式に合わせて答えよ。

2025 kyosai-guild.jp

国語

第三問題　次の文章を読み、後の問に答えよ。

著作権等保護の観点から　掲載いたしません

2025 kyosai-guild.jp

国語

著作権等保護の観点から　掲載いたしません

2025 kyosai-guild.jp

著作権等保護の観点から　掲載いたしません

（三浦哲郎『燈火』より）

2025 kyosai-guild.jp

問1　次の問に答えよ。

(1)　傍線部①「呪縛を解かれたように吐息をし」とはどのようなことを表しているか。四十字以内で説明せよ。

(2)　傍線部②「あんたはお祖母ちゃんとなにを話してたの？」について、この時の志穂の心情の説明として最も適当なものをA～Eから選び、記号で答えよ。

A　自分の記憶力の優れていることをひけらかすかのように話す七重にいら立ちを覚えている。
B　自分の記憶を確かなものとして自信ありげに語る七重の話に強く興味をひかれている。
C　自分の記憶違いに気がつかず、自信を持ってとくとくと話す七重におかしみを感じている。
D　生き生きと祖母との思い出を語る七重に、祖母を独り占めされているかのようで嫉妬している。
E　このままでは七重の独擅場になり、場がしらけてしまうのを避けたいと思っている。

(3)　傍線部③「小刻みに別れるつもり」とはどのような意味か、三十字程度で説明せよ。

(4)　傍線部④「出がけに一枝折ってくるのだったと思った」について、この時の馬淵の心情の説明として最も適当なものをA～Eから選び、記号で答えよ。

A　母が、東京から息子が来てくれるものの、孫たちが来ないのを寂しく思っていると感じている。
B　母が、東京の孫たちには会うのをあきらめたことを、息子に伝えようと思っていると感じている。
C　母が、一人では東京に行くこともできない状態になったことを、くやしく思っていると感じている。
D　母が、自分の命が次の春まであるのかどうかを、息子の表情から探ろうと思っていると感じている。
E　母が、東京の息子の家で孫たちと過ごした日々のことを、なつかしく思っていると感じている。

(5)　この文章の表現・構成について述べたものとして最も適当なものをA～Eから選び、記号で答えよ。

A　祖母との思い出を、会話を中心に現在からさかのぼるかたちで順に語ることで読者をごく自然に作品世界へと導いていくものになっている。
B　三人の娘が祖母との思い出を競い合うように語る描き方が、祖母への愛情の深さを際立たせるものになっている。
C　祖母の振る舞いの中で面白かった思い出だけを取り上げ語り合うことで、喪失感の大きさを効果的に描き出している。
D　庭の白木蓮にまつわるエピソードを用いることで、祖母の人物像や息子家族の祖母への追慕の念を印象的に描いている。
E　方言で話す母、一方で方言で話さなくなった息子というように方言の使用の有無によって親子に精神的距離があることを表している。

問2　次の【資料】はこの小説を読んだ生徒の会話である。［ア］にあてはまる、祖母の心情を推測した言葉を、「東京」、「郷里」の語句を用いて、三十字以上四十字以内で書け。

【資料】

みずき　お祖母ちゃんが「白木蓮」を「田打ち桜」と呼んでいたのは、「花の名前を憶えるのが苦手だった」から「勝手に自分の好きな名前で呼んでいた」と説明してるけど、本当にそうなのかなあと思うんだ。

あさひ　じゃあ、どうしてだと思う？

みずき　孫たちがいる東京の家は、お祖母ちゃんにとって、とても居心地が良かったと思うんだ。

たくみ　そうだね。みんながお祖母ちゃんを懐かしく思い出してることからも、東京の家で歓迎されていたことが伝わるよ。帰ると決めても延期したりするくらいだしね。

あさひ　でも、お祖母ちゃんが「白木蓮」を好きな理由に、「この花が咲きはじめれば遠からず郷里へ帰れるという歓びが加味されてのこと」と父親は言っているよ。

みずき　そう。お祖母ちゃんにとって［ア］から「白木蓮」を「田打ち桜」と呼んでいたと思うんだ。

たくみ　確かに、「花の名前を憶えるのが苦手だった」からと決めつけられないね。

2025 kyosai-guild.jp

国語

10／13枚中

第四問題　次の[I]、[II]の文章を読み、後の問に答えよ。

[I]

源氏の君は、六条に住む女性のもとに通う道すがら、近所の屋敷に咲いていた夕顔の花を所望したところ、屋敷の女主人から、こちらが誰かを言い当てた歌を書いた扇が花の台として届けられ、風情のある様子に興味を持った。直接のやり取りは一度の返歌をしただけであったが、女主人がどのような人かを知るために、腹心の部下である乳母子の惟光に、しばらくその屋敷の様子を探らせていた。以下は、後日惟光が源氏の君に報告している場面である。

（惟光）「一日、前駆追ひて渡る車のはべりしをのぞきて、童べの急ぎて、『右近の君こそ、まづ物見たまへ。中将殿こそこれより渡り a たまひぬれ』と言へば、またよろしき大人出で来て、『①あなかま』と手かくものから、『②いかでさは知るぞ。いで見む』とて這ひわたる、打橋だつものを道にてなむ通ひはべる、急ぎ来るものは、衣の裾を物にひきかけて、よろぼひ倒れて橋よりも③落ちぬべければ、『いで、この葛城の神こそ、さがしうしおきたれ』とむつかりて、物のぞきの心もさめぬめりき。『君は御直衣姿にて、御随身どももありし。なにがし、くれがし』と数へしは、頭中将の随身、その小舎人童をなんしるしに言ひはべりし」など聞こゆれば、「たしかにその車をぞ見まし」とのたまひて、④もしかのあはれに忘れざりし人にやと思ほしよるも、いと知らまほしげなる御気色を見て、「私の懸想もいとよくしおきて、案内も残る所なく見 b たまへおきながら・・・」、

（『源氏物語』第四帖　夕顔　第四章より）

（注）＊1　右近の君こそ、まづ物見たまへ。……「右近の君、早くごらんなされ。」の意。右近の君は、屋敷の女主人に仕える女房の名。

＊2　中将殿……頭中将。源氏の君の友人。頭中将は、この屋敷の女主人に思いを寄せ、二人は恋愛関係にあったが、女主人は頭中将の正妻の嫉妬におびえて姿を消してしまったという経緯がある。

＊3　打橋だつもの……建物どうしをつなぐ着脱式の簡易な板橋。

＊4　いで、この葛城の神こそ、さがしうしおきたれ……「まあ、この葛城の神様ったら、険しい橋を架けてくれたものね」の意。葛城山に住む神が橋を完成させられなかったという伝説をふまえた表現。

＊5　『君は御直衣・・・くれがし』……童べが周囲の女房に言った言葉。

＊6　私の懸想……惟光が、様子を探っている家の女房と恋仲になったこと。

[II]

著作権等保護の観点から
掲載いたしません

（岩佐美代子『宮廷文学のひそかな楽しみ』より）

2025 kyosai-guild.jp

国語

問1　傍線部①「あなかま」の現代語訳として最も適当なものをA～Eから選び、記号で答えよ。

A　おや、どうしたの
B　あら、来ないで
C　ほら、急いで
D　しっ、静かに
E　さあ、早く

問2　傍線部②「いかでさは知るぞ」の「さ」が指し示す内容を答えよ。

問3　傍線部③「落ちぬべければ」の現代語訳として最も適当なものをA～Eから選び、記号で答えよ。

A　落ちてしまったので
B　もし落ちてしまったのならば
C　もし落ちなかったならば
D　落ちないようにしたかったので
E　落ちてしまいそうになったので

問4　傍線部④「もしかのあはれに忘れざりし人にやと思ほしよる」とは、誰がどう思ったということか、説明せよ。

問5　二重傍線部a・bの語の文法的説明として最も適当なものをA～Eから選び、記号で答えよ。

A　a　尊敬の助動詞「たまふ」の連用形　b　尊敬の助動詞「たまふ」の已然形
B　a　尊敬の補助動詞「たまふ」の連用形　b　謙譲の補助動詞「たまふ」の連用形
C　a　尊敬の補助動詞「たまふ」の連用形　b　謙譲の補助動詞「たまふ」の已然形
D　a　謙譲の補助動詞「たまふ」の連用形　b　尊敬の助動詞「たまふ」の命令形
E　a　謙譲の動詞「たまふ」の連用形　b　謙譲の動詞「たまふ」の未然形

問6　Ⅱの文章について、次の問に答えよ。

(1)　Ⅰの文章の波線部中の「ありし」について、筆者は文法的にどう捉え直すべきだと考えているか。従来の文法的な捉え方との違いを明確にして説明せよ。

(2)　［　ア　］にあてはまる現代語訳を五字以内で書け。

2025 kyosai-guild.jp

国語

12／13枚中

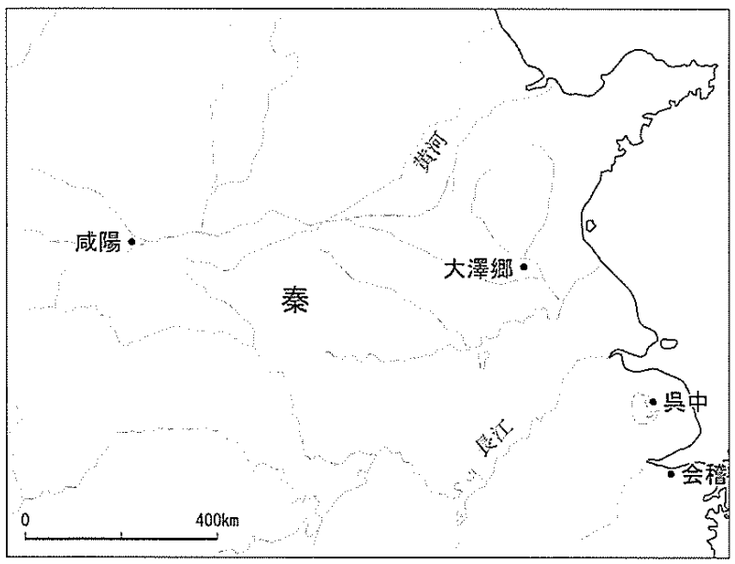
第五問題　次の文章を読み、後の問に答えよ。なお、設問の関係で返り点・送り仮名・符号を一部省略している。

秦の二世元年（前二〇九年）七月、秦の暴政に反抗して沛郡の大澤で農民が蜂起すると、会稽郡の郡守（長官）であった殷通は、呉中の有力者であった項梁を招き、秦への挙兵について相談した。項梁は秦軍に敗れ戦死した楚の名将の子であるが、甥の項羽（文中では「籍」）とともに、呉中に逃れていた。項梁は、兵法に明るく、呉中において畏敬されていた。

其九月、会稽守通*1謂梁*2曰、「江西皆反。*3此亦天亡秦之時也。吾聞、先即制人、後則為人所制。」

①吾欲発兵使公*4及桓楚将。」是時、桓楚亡在沢中。②独籍知之耳。」梁乃出、誡籍持剣居外待。梁復入、与守坐曰、「請召籍使受命召桓楚。」守曰、「諾。」梁召籍入。須臾梁眴籍曰、「可行矣。」於是籍遂抜剣斬守頭。項梁持守頭、佩其印綬。

（『史記』第七　項羽本紀より）



（注）
*1　通……殷通。「いんとう」とも読む。
*2　梁……項梁。
*3　江西……長江を隔てて北西の地。
*4　公及桓楚……そなた（項梁）と桓楚。
　　桓楚は豪傑として知られていた人物。
*5　誡……～に命じる。
*6　印綬……官印とそれを身につける組み紐。
　　ここでは、会稽郡の郡守である証。

2025 kyosai-guild.jp

問1　傍線部①・②について、次の問に答えよ。

(1)　次に示す書き下し文に合わせて、傍線部①に返り点を施せ。なお、送り仮名や読点はつけなくてよい。

「吾、兵を発し、公及び桓楚をして将たらしめんと欲す」

吾欲発兵使公及桓楚将。

(2)　傍線部②で使われている句法として最も適当なものをA～Eから選び、記号で答えよ。

独籍知之耳。

A　使役　B　仮定　C　限定　D　推測　E　受身

問2　二重傍線部aで「諾」と答えたのは、何に対しての許可か、最も適当なものをA～Eから選び、記号で答えよ。

A　籍を呼び、武器を持ったまま部屋の外に待機するよう命じること。
B　籍を呼び、項梁とともに殷通の近くに座らせ話を聞かせること。
C　籍を呼び、項梁が籍に命じて、桓楚の居場所を暴露させること。
D　籍を呼び、籍が殷通の命令を受け、桓楚を探し出して連れてくること。
E　籍を呼び、籍が殷通の命令を受け、桓楚を殷通のもとへ連れてくること。

問3　先即制人、後則為人所制について、次の問に答えよ。

(1)　ここで述べられている「先んずれば」とは、殷通がどのような目的で何を行うことであったか。四十字程度で説明せよ。

(2)　この文章において、「人を制す」ことに成功したのは誰で、具体的には何をしたことであったか。五十字程度で説明せよ。

2025 kyosai-guild.jp

令和七年度　解答用紙

国語

1／4枚中

第一問題（小計15点）

問1 (1)	問1 (3)	問2 (1)	問2 (2)	問2 (3)	問2 (4)	問3
ア	十五画	D	E	E	C	C
たわんで						
イ						
にゅうわ						
(2)						
ア						
帰結						
イ						
委譲						

各1点×5問　　各2点×5問

第二問題（小計23点）

問1 (1)	問2 (1)					問2 (2)	問2 (3)
D	「	他	け	て	」	(1)	(3)
3点	他	者	容	で	他	者	7
(2)	者	と	れ	は	者	と	点
A	と	共	る	な	を	共	か
4点	を	に	こ	く	」	に	ら
	」	生	と	、	話	生	10
	し	き	で	」	合	る	点
	ば	め	あ	理	え	た	
	で	に	る	解	で	」	
	き	は	と	で	き	理	
	理	、	い	き	な	解	
	解	」	う	な	い	で	
	で	理	主	い	存	き	
	き	解	張	」	在	る	
	る	で	。	存	」	」	
	」	」		在	」	解	
	存	存		と	存	で	
	在	在		し	在	き	
	」	と		て	と	な	
	理	し		受	し	い	
	合	て					
	え	」					
	で	理					
	き	解					
	な	で					
	い	き					
	存	る					
	在	」					
	」	解					
		で					
		き					
		な					
		い					
		。					

4点　　4点　　8点

受験番号
解答例

整理番号	

（この欄は記入しないこと）

2025 kyosai-guild.jp

令和七年度　解答用紙

国語

受験番号

解答例

第三問題（小計22点）

問1 (1)		問1 (2)	問1 (3)		問1 (4)	問2	
た	録	B	け	母	E	つ	東
緊	音		入	が		ぱ	京
張	さ		れ	ま		り	の
感	れ	3点	て	も	(5)	郷	暮
か	た		い	な	D	里	ら
ら	音		く	く		に	し
解	を		と	死		愛	も
放	聞		い	ぬ	各3点	着	居
さ	き		う	と		が	心
れ	も		意30	い		あ30	地
た	ら		味	う		っ	が
と	さ		。	現		た	よ
い	な			実			か
う	い			を			っ
こ	よ			、			た
と	う			少			け
。	に			し			れ
	し			ず			ど
	て			つ			、
40	い		4点	受	5点	40	や

4点

整理番号

（この欄は記入しないこと）

2025 kyosai-guild.jp

令和七年度　解答用紙

国語

3／4枚中

受験番号
解答例

第四問題（小計22点）

問1	問2	問3	問4	問5	問6 (1)	問6 (2)
D	通り過ぎたのが中将であるということ。	E	源氏の君が、屋敷の女主人のことを、頭中将が忘れられないでいた女性ではないかと思ったということ。	B	★解答例★ ラ変動詞「あり」＋過去の助動詞「し」と捉えられていたものを、一語の連体詞「ありし」と捉え直すべきだとする	こ の 前 来 た
2点	3点	2点	5点	3点	4点	3点

整理番号	

（この欄は記入しないこと）

2025 kyosai-guild.jp

令和七年度　解答用紙

国語

受験番号

解答例

第五問題（小計18点）

問1

(1)

吾欲二発一レ兵使二公及桓楚将一。

2点

(2) C　2点

問2 E　3点

問3

(1)

農	
民	
の	
秦	
へ	
の	
反	
乱	
に	
乗	
じ	
て	
、	
秦	
を	
滅	
ぼ	
す	
た	
め	
40	

(2)

項	
梁	
が	
殷	
通	
の	
も	
ち	
か	
け	
に	
乗	
っ	
た	
ふ	
り	
を	
し	
て	
殷	
の	
通	
を	
だ	
ま	
し	
討	
ち	
に	
し	
て	
殺	
し	
、	
会	
稽	
郡	
の	
郡	
守	
の	
座	
を	
手	
に	
入	
れ	
た	
こ	
と	
。	
50	

5点

6点

整理番号

2025 kyosai-guild.jp